

講座紹介

講座名	「人工衛星に使われている電池の秘密」	
内容	<p>宇宙で人工衛星が「電池」で動いていることをご存知ですか？昔の人工衛星は使い切りの電池を使っていたので数日しか動けませんでした。現在は太陽電池パネルで太陽の光が当たっている間に発電してバッテリーに充電することで、何年も宇宙で動けるようになったのです。この講座では電池のスペシャリストがそのしくみや色々な種類の電池の特徴について説明します。現在の私たちの世界は電池がなければ生きていけません。「電池を制すれば世界を制す」とも言われる、その奥深さをぜひ知ってください。</p>	
日にち	<p>1回目：2021年1月5日（火） 2回目：2021年1月16日（土）</p>	
時間	14:00～（講座は約40分）	
対象	小学校高学年～中学生（推奨）	
定員	18席	
講座料	無料（展覧会へご入場されている方が対象です。講座のみは受けられません。）	
参加方法	<p>事前予約制 ※ 予約フォームから事前にお申込みをお願いします。 ※ 新型コロナウイルス感染予防のため、当日はマスク着用、手指の消毒のご協力をお願いいたします。講座の前に検温をさせていただきます。体調のすぐれない方はご来場をお控えください。</p>	
講師	<p>（株）QPS 研究所 研究員 北村 広樹</p>	
プロフィール		<p>九州大学大学院総合理工学府 修士修了。 クリーンなエネルギー技術としてリチウムイオン電池を実用化することを目標に、関西で有数の電機メーカーへ入社。基礎研究～開発、量産化を経験後、新たなステージとして宇宙業界へ。それまでの実績を活かして QPS 研究所が持つ技術の知財戦略を担い、衛星開発では熱設計を主に担当している。</p>